



「ストップ・ザ・無縁社会」

地域での支え合い

<http://stop-muen.jp>

TOPICS



第67回兵庫県社会福祉大会で730の個人・団体を表彰



11月20日、川西市キセラホールにおいて、県・県社協・川西市・川西市社協の共催により、第67回兵庫県社会福祉大会が開催されました。県政150周年を記念した同大会は、「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの協賛事業でもあり、県内各地から社会福祉関係者ら約1,000名が参加しました。

第1部の表彰式典では、永年にわたり社会福祉の向上に貢献された730の個人・団体が表彰されました。

第2部では、川西市名誉市民の古田敦也氏(元プロ野球選手・監督、野球解説者)をお招きし、「ともにつながり 支え合う」をテーマに記念講演が行われました。



また、同会場において障害者福祉施設・事業所が物品を販売し、多くの来場者が立ち寄りしました。

県内各地で地域フォーラムが開催されています！

● 住民同士の支え合い、助け合い活動の活性化のために

養父市では、10月27日に「養父市地域づくりフォーラム」が開催され、地域住民や福祉関係者ら210人が参加しました。この日は「地域をもっと元気に！出来ることから始めてみよう」と題し、mottoひょうご事務局長の栗木剛氏から、支え合い・助け合いの地域づくりやボランティア活動についての講演がありました。



また、住民同士の支え合い活動を実践する、五十波福祉連絡会いかり「e生活応援し隊」(宍粟市)、くらしの助け合いの会「なんなっと」(豊岡市)、地域ふれあいの家「ほっとハート」(養父市)が発表し、広瀬栄養父市長よりコメントがありました。参加者からは「各地域の積極的な活動事例を聞き、大変参考になりました」「同世代が同世代を支える時代。いつまでも元気で地域のために活動がしたいと思います」と感想が寄せられました。

● “助けて”と言える地域へ



宝塚市では、11月8日に「宝塚市社会福祉大会」が開催され、住民や福祉関係者ら約330名が参加しました。記念講演では生活困窮者やホームレス支援に取り組むNPO法人抱樸(ほうぼく)の奥田知志氏をお招きし、「“助けて”と言える地域へ。～共生のまちづくりをめざして～」と題して、当事者に寄り添う実践報告や切れ

目のない支援の大切さについて触れられました。

また、地域活動者や障害福祉事業所による販売コーナーや被災地物産展、募金百貨店プロジェクト事業所による喫茶コーナーも設けられ、多くの参加者でにぎわいました。

